

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども通所サービス ひかり		
○保護者評価実施期間	6年 12月 1日		7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	6年 12月 1日		7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長年、児童の支援に従事している職員がいるため 日々の取り組みなど充実している	巧緻動作・認知機能・クッキング・微細運動から粗大運動ま で 1人1人が成長できる取り組みを行っている	支援の内容が固まらないように日々おこなう療育を事前に決 め事前準備をし取り組んでいる
2	資格保有の支援員がいるため専門的な支援ができる	強度行動障害実践研修 介護福祉士がおり専門的なミーティ ングを行い支援にとりくんでいる	保育士取得をした職員を雇いさらに充実を図りたい
3	日中一時支援・ショートステイがあり 仕事をしている保護 者様のレスパイトケアや保護者様自身に困ったことがあった 時の対応ができる	保護者様のニーズに寄り添う出来る限りの要望を聞いて取り 組んでいる	グループホームなど今後の取り組みだと思っている

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間で障がいに対する認識や知識に対して差がある。	以前は講習会に参加していたがコロナ禍に入り参加出来ない期間があり、どの後の講習にあまり参加できていない職員がいる。	YouTube等を活用した施設内での勉強会や市が開催している講習会等に参加する機会を作り職員間の障がいに対する認識の差を軽減していく
2	利用者やご家族との距離感が近いと面談を行うと話がそれてしまい長引きやすい	当施設では出来る限り利用者様やご家族様に相談しやすいと思ってもらえるように対応しているという事もあり、面談の時に井戸端会議の様な話になってしまう事がある。	主題を先に提示したり時間に制限を設けて面談時に少し緊張感を持たせるようにする。
3			